

第11回多職種連携事例検討会 報告

2022年12月1日(木)14:00~16:00 オンライン開催
「ACP・意思決定支援について」 参加者:47名

座長：神戸市西区医師会 顧問 石原内科・リハビリテーション科 院長 石原 健造氏
[1部:講演・質疑応答]

テーマ：「地域・多職種で取り組むACP(人生会議)」

講師：神戸市西区医師会 副会長 中神クリニック 院長 中神 祐介氏
[2部:事例検討会・パネルディスカッション・意見交換・質疑応答]

テーマ：「最期まで自分らしく生き抜かれた事例を通して
尊厳ある意思決定支援を考える」

パネリスト：神戸市西区医師会 副会長 中神クリニック 院長 中神 祐介氏
おひさま訪問看護ステーション 管理者 稗田 洋子氏(事例提供)
ケアグレース神戸居宅支援事業所 管理者 原 睦 氏



第1部

内容：「ACPをいつから行ったらよいか？ ACPの実践モデル、神戸でのACPの取り組み」等について
質疑応答：「ACPのタイミング」について

第2部

事例紹介：父娘2人暮らし息子は関東在住。娘は高齢の父親に告知せず自分らしく生き抜かれた事例。

パネルディスカッション：医師・訪問看護師・ケアマネジャーの「役割と課題、代理決定者(親友)との関わり方、ACPの問題点」等について。

意見交換：各グループで“気づき、思う事・質問したい事”等を話し合いました。

質疑応答：「第三者と情報共有」「父親のショートスティ導入の仕方」「本人と父親のACPの話がどこまでできたのか」等。



講師：中神医師



座長：石原医師



事例提供者：稗田看護師



パネリスト：原ケアマネ

学 び：多職種が複雑な状況下でもACPの大切さと難しさに対応しながら、1つの方向に向かった事例。今後の在宅・看取りで、ACP・本人家族の話し合いが大切である事を活かせる内容だった。

【成 果】 (アンケートより一部抜粋)

- リハ職)・ACPの大切さと難しさを学びました。医療・介護に関わるものとして、このような事例検討で考え方や様々な視点を学ぶことができる点からも、こういった多職種の研修に参加することの意義を再認識しました。ありがとうございました。
- 訪問看護師)・今、利用者ツールを使ってACPに取り組んでいます。やってみて思った事は、タイミングと対話が大切という事でした。価値観シートも使ってみてみたいと思いました。
- 薬剤師)・患者様、家族との付き合い方は日々考えますが、ACPという考え方を改めて聴くことで今後のかわり方に参考になると思いました。
- ケアマネ)・ACPの概要だけでなく、実際の事例や関わった方たちの生の意見や葛藤などを伺って、大変共感する部分も多く、学びになりました。
・事例提供者だけからの視点ではなく、各職種からの意見や思い、課題等を聞いたことがとても良かったです。
- あんしんすこやかセンター)・支援者としてどう寄り添っていくことがベストな選択になるのか、今後も本人や家族だけでなく、関係者も巻き込んで一緒に意思決定支援を行えたらと思います。

～多数のご意見ありがとうございました～